

能
小鍛冶
佐々木多門

第二回
喜多流能
森舞台公演

狂言
鐘の音

野村 萬齋
野村 裕基



日時 2024年
10月6日(日)

開演15時 (開場14時30分)

会場 登米町伝統芸能伝承館
森舞台

宮城県登米市登米町寺池上町 42

入場料 全席指定 (正面) S 席 6500円
(脇・正面) A 席 6000円
(脇正面) 学生席 2000円

主催 / 登米謡曲会 共催 / 登米市 登米市教育委員会 (株)とよま振興公社

後援 / 宮城県 (一)登米市観光物産協会 河北新報社 仙北郷土タイムス TDC東北放送 ミヤギテレビ khb 東日本放送 仙台放送 NHK

チケット発売開始 7月20日(土)10時

直接ご購入の場合

(株)とよま振興公社 ☎0220-52-5566
秋山写真店 ☎0220-52-2039
(株)米谷建設 ☎0220-52-3546
登米謡曲会会員

電話予約・郵送をご希望の場合

①事務局(090-1939-5527)に電話して席種と代金を確認
②指定口座に代金振込(手数料は振込者のご負担となります。)
振込先 仙台銀行 登米支店 普通 0009472
喜多流能森舞台公演実行委員会 菅原かほ子
③ご入金を確認後、チケットを郵送
※9月25日(水)以降は直接ご購入ください

○雨天決行。
○A席・学生席は雨天時には雨具の用意が必要です。
○演能中止以外は料金の払い戻しはいたしません。
○最新情報・座席表についてはfacebookページをご覧ください。

喜多流能森舞台公演 検索

お問い合わせ 喜多流能森舞台公演実行委員会事務局 (株)米谷建設(米谷甚七) ☎090-1939-5527



第二回 喜多流能 森舞台公演 番組

二〇二四年十月六日(日)
開演十五時(開場十四時三十分)
登米町伝統芸能伝承館「森舞台」

能の鑑賞について(能楽師による解説)

狂言 鐘の音

シテ・太郎冠者

野村

萬斎

アド・主

野村

裕基

(十五時十分頃)

(十五時)

能 小鍛冶

後シテ・靈狐
前シテ・童子

佐々木 多門

ワキ・宗近 館田 善博

ワキツレ・橋道成 御厨 誠吾

間狂言・稲荷明神の末社 野村 裕基

後見 佐藤 寛泰

地謡

菊池 幸介 狩野 了一
大島 輝久 長島 茂
友枝 真也 内田 成信

終演予定 十六時五十分頃

休憩 十五分

(十五時五十分頃)

狂言 鐘の音

主人は息子の元服に、黄金作りの太刀を差させてやろうと考え、金の値段を聞きに太郎冠者を鎌倉へ遣わすところが、「金の値」を、寺の鐘の音と思ひ込んだ太郎冠者。寺々を回って帰宅すると、主人の前で鐘の音を説明するのだが…

寿福寺・円覚寺・極楽寺・建長寺の寺々の鐘の音を擬音で説明したり、主人の怒りを解くために鐘の音の子細を謡い舞うのが見どころの狂言です。演者自身の声で鐘の音を表現する、狂言独自の演出をお楽しみ下さい。

能 小鍛冶

天下に名を知られた刀工・小鍛冶宗近のもとへ、帝より御剣を打つようにとの勅命が下ります。しかしその時の宗近には、そのような大事名刀を鍛えるための相槌となる者がいませんでした。困った宗近は、氏神の稲荷明神に御加護を祈ることにします。すると一人の童子が現れて、日本と中国に伝わる名剣の徳を語り、宗近に下された勅命のことを祝います。安心して鍛冶の支度を整えて待つようにと告げると、童子は稲荷山の方へ消えてしまいます。

宗近は、童子に言われたように、鍛冶のための壇を浄め、装束を改めて支度を整えて祈念をすると、稲荷明神の化身が靈狐の姿で出現します。宗近の相槌をつとめて、見事名剣を打ち上げられました。宗近は刀の表側に「小鍛冶宗近」名を刻むと、靈狐は「小狐」と打ちつけて勅使に渡し、雲に乗って稲荷山へと帰っていくのでした。

野村 萬斎



1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。日本能楽协会会员(重要無形文化財総合指定)。

国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、古典の技法を駆使した作品の舞台演出で幅広く活躍。現在の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり。

「狂言」による乃座「主宰」。

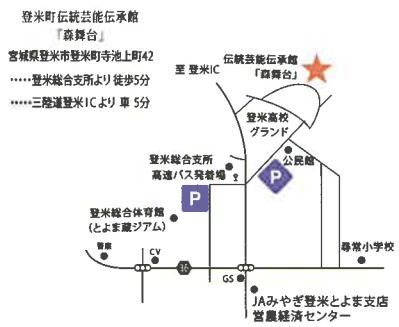
佐々木 多門



能楽シテ方喜多流職分。日本能楽协会会员(重要無形文化財総合指定)。1972年盛岡生。職分佐々木宗生の長男。宗家内弟子を経て現在、職分塩津哲生に師事。東京での活動とともに、中尊寺新能・仙台青葉能・白石碧水園能等、東北の能楽振興に重きをおきながら、国内外各地の公演に参加。

「狸々乱」「道成寺」「翁」をゆかりある中尊寺能舞台にて披露。社中会である「喜桜会」「桜楽会」会主。登米謡曲会講師。

会場案内図



- お車でお越しの方は登米公民館・登米総合支所の無料駐車場をご利用ください。
- 高速バス(仙台←→登米)については東日本急行の時刻表をご参照ください。

観覧席見取図

